
メ～テレ、8K・4K カメラを駆使した 12K ワイドスパン映像を制作 名古屋のカフェの壁面映像に採用

放送を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、メ～テレは「次世代放送の先進局」を目指し、かねてより次世代映像に積極的に取り組んできました。

2018年3月、メ～テレは地上波の民放テレビ局として他に先駆けて8Kカムコーダーを導入。このたび、2台の4Kカメラと組み合わせ、奈良県大台ヶ原にて、横一列に並んだ6面のHD映像(12K映像)の撮影を行いました。

この映像は、名古屋市中東区に7月27日(金)にオープンするリラックスカフェ「CONSOLANTE」で、あたかも「窓から見える風景」のように、店内の6台のディスプレイで上映されます。

【12K ワイドスパン映像について】

12K ワイドスパン映像とは、横×縦の解像度が 11,520 (12K) ×1,080 の非常に高解像な横長映像です。この映像を制作するため、8K カメラと2台の4K カメラを使用しました。8K は 7,680×4,320 の解像度があり、4K は 3,840 × 2,160 の解像度があります。これらの映像を組み合わせ切り出すことで、メ～テレは一度の撮影で横一列に並んだ合計6面のHD映像=12K映像を作成する新たな撮影手法に取り組みました。

【概要】

撮影は奈良県の大台ヶ原で行い、緑豊かな自然の風景を撮影しました。撮影場所の選定から実際の撮影、HD映像の切り出し、編集まで全てを自社グループで行い、撮影手法の評価・検証を行いました。

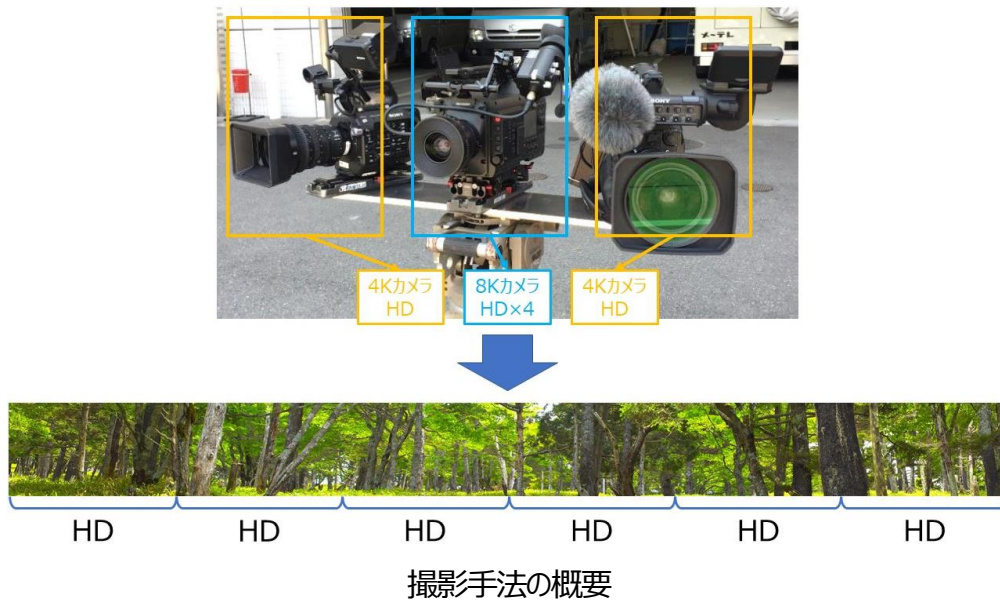
作成した映像は、2018年7月27日(金)にオープンするリラックスカフェ「Natural Forest & Relax Space CONSOLANTE HIGASHIKATAHA」(名古屋市中東区)の壁面映像に採用され、今後店内の6台のディスプレイで上映されます。

【撮影手法】

「4Kカメラ+8Kカメラ+4Kカメラ」の合計3台のカメラを特注の台座に固定して撮影を行いました。撮影された映像から、横一列に並んだHD映像6面を切り出しつなぎ合わせることで、解像度が11,520(12K)×1,080の映像を作成しました。またHD映像をただつなぎ合わせるだけでなく、

- ・つなぎ合わせ部分のマスク処理
- ・鳥、蝶などの特殊効果をCG合成
- ・異なるカメラ映像の色調整

などの編集を行うことで、より見たままの風景に近い映像を作成しました。



【上映】

作成された映像が上映される「Natural Forest & Relax Space CONSOLANTE HIGASHIKATAHA」は、自然をテーマにした癒しの空間を提供する新しいコンセプトのスペースです。窓枠に囲われた、壁面の6台のディスプレイで上映される映像は、実際に窓から見える風景のように見え、まるで自然の中にいるかのように感じられます。



店内の様子



ディスプレイ

メ〜テレは、今後も新たな技術や規格を研究し、放送サービスと融合させていくことで、社会や文化の発展に貢献していきたいと考えております。

【参考】

「Natural Forest & Relax Space CONSOLANTE HIGASHIKATAHA」

<住所> 名古屋市東区榑木町 1-19 日本棋院中部会館ビル 1階 052-253-7756

<開店時間> 午前10時～午後6時 月曜日定休 <http://www.hida-co.com/consolante/>

以上